

## どうしてカエルのベロはながいの？

むかしむかしあるところに、マリー・シャルロットというなのカエルがいました。このカエルはいけにすんでいました。みどりいろのからだ。ベロはまっかでちいさく、ベタベタしていました。

あるひ、カエルはハエにあいました。「ハエちゃん、きをつけて！キミをたべちゃうよ～」とカエルがいました。

「やめて、わたしはなにもしてないわ。わたしをたべちゃいけないわよ」とハエがいました。

カエルはハエをつかまえようとしてしまった。ピシャッ！ カエルのベロはいしにくっついてしまいました。

そこにワニがやってきました。

「ボクがキミのせなかをひっぱってあげるよ」とワニがいました。

「いいよ、そんなひつようはまったくくないよ！」とカエルはおおごえでいいました。

ところがワニはそんなこともおかまいなしに、マリー・シャルロットをひっぱりました。

ひっぱって、ひっぱって。カエルのベロがみるみるうちにながくなり、とつぜん、いしからはがれました。

そのひから、カエルはながいベロをもち、ハエをつかまえられるようになりましたとさ。